名古屋銀行
Bank of NAGOYA

インフォメーションブック

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

「みなさまに名古屋銀行のことを、もっと知っていただくために作りました。」

名古屋銀行イメージキャラクター
「うさぎ支店長」

絆 を つ く る、明 日 へ つ な ぐ。

CONTENTS

社是・行訓	1
ごあいさつ	2
頭取インタビュー	3
平成29年度 名古屋銀行のあゆみ	5
個人のお客さまとともに	7
法人のお客さまとともに	9
有人支店ネットワーク/ATMネットワーク	11
地域とともに	12
業績ハイライト	13
財務諸表	15
株式情報	17
当行概要・各種お問い合わせ	18

社 是

地域社会の繁栄に奉仕する
これが銀行の発展と行員の幸福を
併せもたらすものである

行 訓

1.よいサービス
誠意があふれ 行き届いた
スピーディなサービス

2.よい人
人を高め 人を厚くし
明るい職場をつくる

3.よい経営
健全で 創意に富んだ 全員参加の経営

ごあいさつ

日頃より、名古屋銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

皆さまに、当行の活動内容に対するご理解を一層深めていただくため、「インフォメーションブック」（平成29年4月1日～平成30年3月31日）を作成いたしましたので、是非ともご高覧いただきますようお願い申し上げます。

当行では、計画期間を3ヶ年とする第20次中期経営計画「『より強く、より永く、より深く』～じもととの絆の深化～」に、昨年度より取組んでおります。金融仲介機能とコンサルティング機能の発揮に努め、地域の皆さまとともに成長・発展していくことをめざしてまいります。

地域金融機関としての使命を果たし、地域の皆さまから信頼をいただけるよう、そして存在感を高められるよう、社是である「地域社会の繁栄に奉仕する」を実践してまいりますので、今後とも一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

取締役会長
加藤 千彦

取締役頭取
藤原 一朗

頭取インタビュー

お客さまの多様なニーズにお応えし、「地域社会の繁栄に奉仕」してまいります。

取締役頭取　藤原一朗

Q 平成29年度を振り返って

当行は、地域の活性化に貢献し、お客さまからご評価していただけるよう、昨年度も様々な取組みを行ってまいりました。

まず、お客さまの本業支援に対する取組みといたしまして、テーマや業種を絞った逆見本市形式の商談会「名銀ジョイント」や他の金融機関さまと連携した様々な商談会を開催いたしました。大手企業さまと地元中小企業さまの橋渡しを行い、新たな販路拡大に向けた取組みをサポートさせていただいております。お客さまの様々なニーズや社会情勢に応じたセミナーも積極的に開催しております。知的財産をビジネスに活かしていただく具体的な事例のご案内や、世界最先端のバイオマス素材であるセルロースナノファイバーを利活用する方法など、質の高い情報のご提供に努めております。

また、昨年11月より、南通支店において、人民元業務の取扱いを開始いたしました。人民元業務の開始により、人民元建ての融資、預金などの金融サービスが可能となりました。東海3県の地方銀行で、当業務を取り扱うのは初めてです。海外ビジネス関連の商談会・交流会・セミナーも積極的に開催しており、今後も国内外一体となって、お客さまへの海外進出支援体制を強化してまいります。

次に、お客さまの利便性や満足度の向上につながる取組みといたしまして、昨年10月より愛知県内の金融機関では初めてのブランドデビットカード「めいぎんJCBデビット」の取扱いを開始いたしました。お客さまのご利用代金が即時に指定口座にて

第20次中期経営計画の概要

計画期間	平成29年4月～平成32年3月（3年間）	
5つの基本方針	》より強く	地域のお客さまのより豊かな生活の実現
	》より永く	「永年取引」を目指した体制の整備
	》より深く	徹底した人財教育を通じ積極的で明るい行風の醸成
	》永続的なBPR戦略による全員営業体制の強化	変革を当行の文化にまで昇華
	》ガバナンス・リスク管理・コンプライアンス（GRC）体制の強化	積極的なリスクテイクが出来る体制の構築と法令順守体制の徹底

決済され、現金同様に使用できる便利なカードです。個人のお客さまにとって、より一層利便性の向上につながるものと考えております。大変ご好評をいただいております「お好きなデザインが選べるICキャッシュカードサービス」については、既存の57種類のカードデザインに加え、本年2月より新たに「地方公共団体とのコラボレーションICキャッシュカード」の取扱いを開始いたしました。地元の名所やキャラクターがカードにデザインされており、第一弾として江南市と東郷町とのコラボレーションカードを取扱いいたしました。今後とも地元のお客さまに愛され親しまれる商品を開発してまいります。

次に、店舗関係につきましては、安城支店と江南支店をリニューアルオープンいたしました。また、ほけんの窓口グループとの業務提携を活かして、昨年5月に「ほけんプラザ豊田南」を開設し、本年3月には「ほけんプラザ大名古屋ビルヂング」を開設いたしました。ほけんの窓口グループが有する販売ノウハウや各種ツールを活用し、多様化するお客さまの保険ニーズにお応えしてまいります。

公表目標		平成29年度目標	平成29年度実績（達成率）	平成30年度目標
計画期間中、不変の目標				
期間目標	事業性新規融資取引数	3,000先	2,995先 （99.8%）	3,000先
	個人新規作成顧客数	50,000先	43,991先 （87.9%）	50,000先
計画期間中、毎年設定する目標				
単年度目標	法人複合取引先数※1	17,000先	17,772先 （104.5%）	18,500先
	個人複合取引先数※2	580,000先	572,582先 （98.7%）	415,000先※3

※1 法人複合取引先数とは、事業取引先（法人取引先）の中で当行の指定するメイン化項目のお取引を1項目以上頂いているお客さまの数とします（EB総合振込、給与振込、でんさい稼働先、職域NISA稼働先、関連会社取引先）
※2 個人複合取引先数とは個人取引先の中で当行の指定するメイン化項目のお取引を1項目以上頂いているお客さまの数とします（投資商品保有、ローン利用、bankstage利用、給与振込/年金振込利用、クレジットカード/デビットカード利用（他社カード含まず））
※3 より地域のお客さまとの結びつきを深めるため、当初の個人複合取引先のメイン化項目の基準を見直しております（公共料金/税金等口座振替複数利用を除き、デビットカード利用を追加）

Q 第20次中期経営計画について

平成29年4月にスタートしました第20次中期経営計画「『より強く、より永く、より深く』～じもととの絆の深化～」は、当行がお客さまにとって必要な金融機関であり続けられますよう取組んでおります。お客さまとの関係を「より強く、より永く、より深く」すること、つまり「お客さまにとって有益なサービスをご提供することにより、当行シェアを高め、お取引を厚くしていただき、結果として当行の収益向上と永続的発展に繋げる」ということを主要戦略として掲げております。

公表目標に対して、着実に成果が出ている項目と道半ばの項目がありますが、ソリューション型営業を今後も一層強化し、お客さまから「信頼・安心・期待」していただける名古屋銀行グループを目指してまいります。

Q 今後の進むべき方向性

当行は、お客さまが成長・発展し、地域が活性化するために、何が出来るかを考え取組むことが責務と考えております。そのためお客さまと徹底的に向き合い、単に「お客さまが望むものを提案する」のでは無く、「お客さまが今後、何を望むようになるのか、それをお客さま本人よりも早くつかむ」と言う創造的提案を行ってまいります。

また、事業性評価に基づき、お客さまが経済環境の変化に対して、今後どのようにして成長されていくかを考え助言させていただくことも、積極的に行ってまいります。

これらは当行の社是である「地域社会の繁栄に奉仕する」の実践であります。お客さまにご満足していただき、喜んでいただくことこそが、当行の喜びであり、誇りであると考えております。今後も、創業以来不変である企業理念を大切にし、役職員全員が気持ちを一つにして行動してまいります。

平成29年度 名古屋銀行のあゆみ

平成29年

4月

- 詐欺被害防止のためのキャッシュカード振込一部利用制限の実施
- freee㈱と「業務連携・協力に関する協定」を締結
- 「タイ・ビジネス商談会 in グレーター・ナゴヤ」開催

freee㈱との協定調印式

5月

- 「名古屋銀行ほけんプラザ豊田南」開設

6月

- 「名古屋銀行先進医療費ローン」商品改定
- 第二創業者向け協調融資商品「ネクスト」取扱い開始（日本政策金融公庫との協調融資）
- 株主総会開催（出席株主数203名）藤原頭取就任

7月

- 「第2回創業Café」開催
- 「メキシコセミナー」開催

セミナーの様子

- 藤田保健衛生大学との産学共同「医療マネジメントセミナー」開催

8月

- 「お子さま口座+ONEキャンペーン」実施
- 名古屋市「ワーク・ライフ・バランス推進企業」認証

9月

- ホームページ全面リニューアル
- 「創業者応援パック」取扱い開始
- 安城支店新築移転オープン
- 「FBC上海2017ものづくり商談会」開催
- 愛知労働局と「働き方改革にかかる包括連携協定」を締結

個人向け
法人向け
その他

平成30年

10月

- コンビニATM手数料優遇サービス開始
- 「bankstage5万人突破記念キャンペーン」実施
- 「めいぎんJCBデビット」取扱い開始および「新規入会ダブルチャンスキャンペーン」実施
- 「BCP応援パッケージ」取扱い開始
- 愛知県連携「あいち女性の活躍促進セミナー」開催
- 愛知労働局との連携事業第1弾「働き方改革～人材確保に向けて～」セミナー開催

めいぎんJCB
デビットカード

11月

- 「セルロースナノファイバー利活用セミナー」開催
- 「南アジアセミナー」開催
- 中部金融M&Aネットワーク「第16回M&Aセミナー」開催
- 南通支店における人民元業務開始
- 「第14回三行（十六・名古屋・百五）ビジネス商談会」開催
- 「企業内保育施設活用セミナー」開催

12月

- 「つみたてNISA」専用商品取扱い開始

名古屋銀行ほけんプラザ
大名古屋ビルヂング

1月

- 成年企画オリジナルICキャッシュカード「Onlyわんわん！キャンペーン」実施
- 次期基幹系システムとして㈱NTTデータとの共同センター「STELLA CUBE®」利用に関する基本契約を締結

2月

- 「bankstage新規登録キャンペーン」実施
- 「知的財産ビジネスセミナーin名古屋」開催
- 「地公体とのコラボレーションICキャッシュカード」取扱い開始
- 「『ものづくり補助金』・『IT導入補助金』中小企業支援施策セミナー」開催

3月

- 「FBCハノイ2018ものづくり商談会」開催
- 江南支店新築移転オープン
- 「第3回あいち・じもと農林漁業成長応援『食』と『農』の大商談会」開催
- ㈱PR TIMESと業務提携
- 「名古屋銀行ほけんプラザ大名古屋ビルヂング」開設

個人のお客さまとともに

お客さまに寄り添い最適なご提案をいたします。

※QRコードよりウェブサイトにて各サービスの詳細をご確認いただけます。

個人向けインターネットバンキングサービス

bankstage

24時間365日、パソコンやスマートフォンで残高照会やお振込ができます。投資信託・外貨預金の資産運用もお得な手数料でご利用いただけます。

便利なサービスはありますか？

「めいぎんJCBデビット」のお取扱い開始

愛知県の金融機関で発行する初のブランドデビットカード！

取扱開始日：平成29年10月2日

個人営業部
佐藤真理奈

ローンプラザ

愛知県内8ヵ所にローンプラザを設け、各種ローンの相談を受付けております。一部プラザを除き、土日も営業しておりますので、平日にご来店いただけないお客さまもお気軽にご相談ください。

借りたい！増やしたい！

名古屋銀行でNISA

名古屋銀行で NISA 少額投資非課税制度

名古屋銀行ではNISA、つみたてNISA、ジュニアNISA等を取扱っております。各種NISAのご利用にあたりましては、名古屋銀行証券総合口座の中にNISA口座の開設をお願いいたします。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

しっかり備えたい！

「ほけんプラザ」の開設

平成29年５月9日の「ほけんプラザ豊田南」開設に続き、平成30年３月23日に大名古屋ビルヂング内に「ほけんプラザ大名古屋ビルヂング」を開設。土曜・日曜も18時まで営業しています。お気軽にお越しください。

名銀サンデー

平日、銀行にご来店いただけないお客さま向けに、奇数月原則第2日曜日に、休日相談会「名銀サンデー」を開催しております。資産運用や住宅ローンなどお気軽にご相談ください。

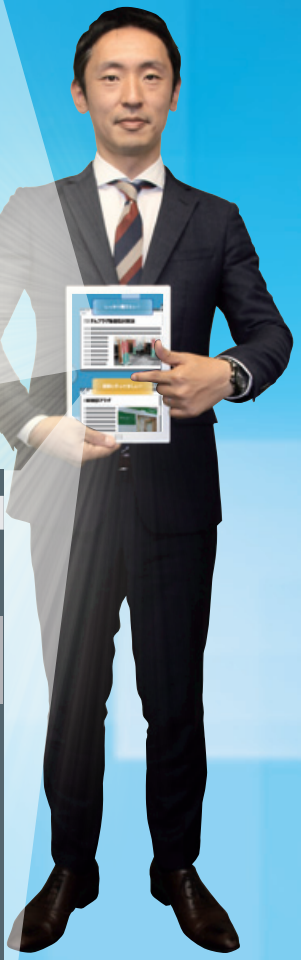
相談にのってほしい！

相続相談プラザ

相続に関するご相談につきましては、当プラザが窓口となり、お手続きやご提案、専門家のご紹介をさせていただきます。ご来店は予約制となっておりますので、ゆっくりご相談いただけます。

名古屋銀行 ハートフルプラザ

名古屋駅に直結した大名古屋ビルヂング16階にある「名古屋銀行ハートフルプラザ」は、各種ご相談のほか、セミナーやイベントを定期開催しています。



個人営業部
係長 園原真也

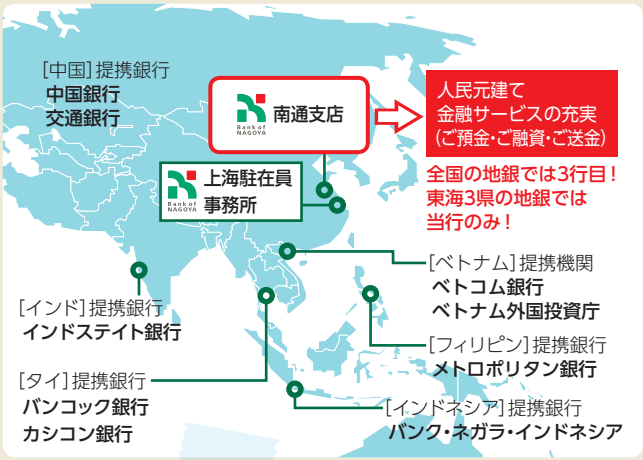
法人のお客さまとともに

私たちにお任せください。お客さまの

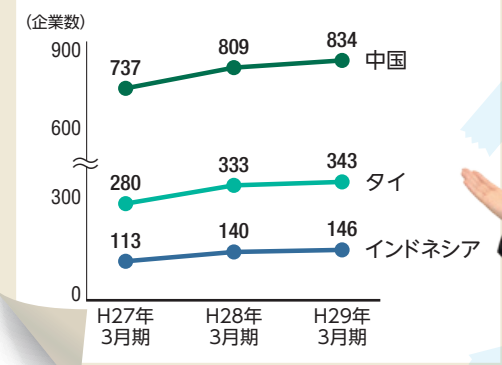
海外進出

中国・アジアへの進出サポート

中国・東南アジアを中心に情報収集機能と海外進出する取引先の支援体制を強化



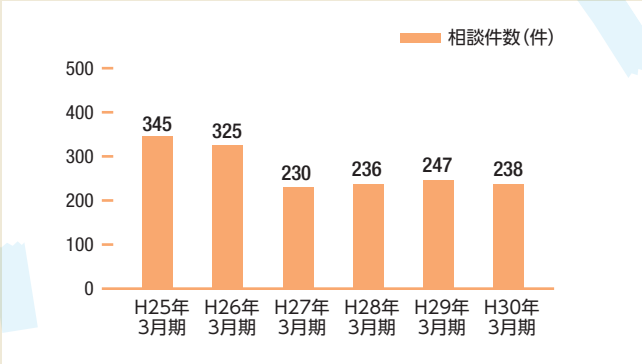
進出国別拠点数推移



事業承継

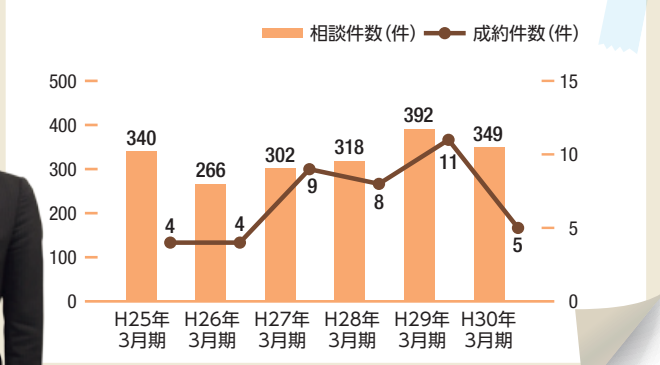
事業承継

営業店と法人コンサルティンググループが連携してご相談を承ります



M&A

新たなステージをサポートします



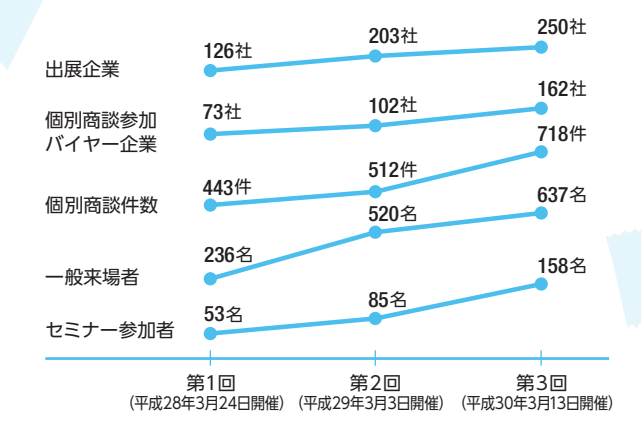
法人営業部　横山喜美

様々な ニーズにお応えしてまいります。

商談会

あいち・じもと農林漁業成長応援「食」と「農」の大商談会

- 「食」と「農」に関わる地元事業者さまの販路拡大などの応援をテーマとした商談会を開催



ビジネス商談会「名銀ジョイント」

- 新たな販路拡大に向けた取組みをサポート（大企業と地元中小企業の橋渡し）
- 逆見本市形式の商談会を開催

バイヤー業種	中日本高速道路㈱（サービスエリア等運営事業者14社） 東海旅客鉄道㈱（JR東海が運営するネット通販）など

総商談数 **430**件　商談会開催回数 **20**回

（平成30年5月11日時点）

補助金・創業支援

補助金申請サポート

- 認定支援機関として、積極的に支援

平成28年度「ものづくり補助金」の採択件数

全国金融機関別 第**2**位　愛知県金融機関別 第**1**位

（当行調べ）

創業Café

- 日本政策金融公庫と共催で創業者向けに講座やセミナーを開催

第1回創業Café
平成28年5月14日,28日開催
《参加者》12組14名

第2回創業Café
平成29年7月1日,8日, 8月12日開催
《参加者》11組14名

- 創業者応援パックの取扱い開始

創業実績 **112**組

（平成30年3月31日時点）

法人営業部　係長 梶武範

地域に根ざした充実の有人支店ネットワーク

名古屋市
52店

愛知県
（名古屋市を除く）
50店

※庄内出張所は浄心支店の店舗内店舗

店舗内訳

名古屋市		52店
愛知県	名古屋市を除く	50店
愛知県外	岐阜支店、多治見支店、浜松支店、静岡支店、大阪支店、東京支店	6店
海外	南通支店	1店（中国）
海外駐在員事務所	上海駐在員事務所	1カ所（中国）

愛知県外
6店

全国約65,000台のATMネットワーク

名古屋銀行のキャッシュカードは、
コンビニATMおよびゆうちょ銀行ATMで
ほぼ**24時間**ご利用いただけます！

名古屋銀行ATM	410台
相互開放ATM（※1）	約16,000台
提携コンビニATM（※2）	約49,000台

（※1）三菱UFJ銀行、三井住友銀行、十六銀行、百五銀行、愛知銀行、中京銀行
（※2）セブン銀行のATM、イーネットATMおよびローソンATM

名古屋銀行のキャッシュカードなら、名古屋銀行ATMでは全日全時間帯、また相互開放ATMでは平日午前8時45分から午後6時まで、現金のお引出しが無料でご利用いただけます（平成30年3月31日現在）

地域とともに

名古屋銀行 キッズサッカー教室の開催

平成29年8月20日、今回で9回目の「名古屋銀行キッズサッカー教室」を開催いたしました。小学生を対象とした、大変人気のあるイベントです。サッカー教室の後は、J2リーグ戦（名古屋グランパス×アビスパ福岡）を、親子で観戦していただきました。

マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2018でのボランティア活動

平成30年3月11日、「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2018」にボランティアとして参加いたしました。平成24年3月から毎年参加しており、今年は50名（これまでの累計493名）の行員が、地域の方々と、コース整備などのお手伝いをさせていただきました。

名古屋銀行 チャリティーコンサートの開催

平成29年11月21日、「第36回名古屋銀行チャリティーコンサート」を開催いたしました。チケットの売上金は、日本赤十字社、社会福祉法人中部善意銀行および認定NPO法人J.POSHの「J.POSH ピンクリボン基金」へ全額寄託し、地域福祉の向上に役立てていただいております。

東山動植物園再生プランの支援

平成30年3月22日、東山動植物園応援定期預金の実績に応じた、動物たちのえさ代等を、協力金として提供いたしました。名古屋市と「東山動植物園再生プランに関する連携と協力の協定」を締結し、東山動植物園の再生プランを応援しております。

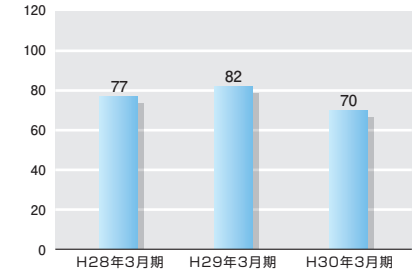
業績ハイライト

損益の状況〈単体〉

銀行本来業務から得られる利益である業務純益は、役務取引等利益の増加があったものの、貸出金利回りの低下などにより、前期比12億円減少し70億円となりました。
経常利益は、与信関連費用が前期比大幅に減少し、60億円となりました。
当期純利益は前期比から6億円減少し、48億円となりました。

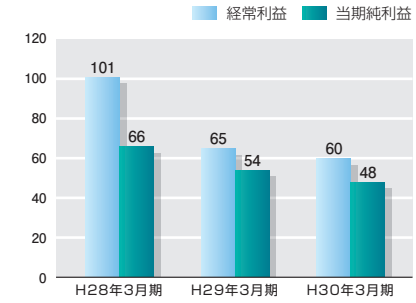
業務純益

(単位：億円)



経常利益・当期純利益

(単位：億円)



預金（譲渡性預金含む）・貸出金の状況＜単体＞

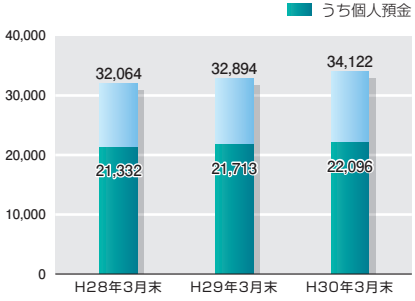
預金（譲渡性預金含む）は3兆4,122億円。内訳として、愛知県内預金は3兆3,142億円となっております。
貸出金は2兆4,582億円。内訳として、愛知県内貸出金は2兆1,888億円となっております。
地元企業の資金需要や住宅ローンを中心とした個人向け融資等、各種資金ニーズに積極的に対応し、貸出業務を推進しております。

愛知県内預金の預金全体に占める割合
97.1%

愛知県内貸出金の貸出金全体に占める割合
89.0%

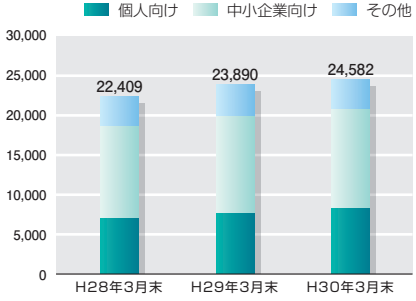
預金（譲渡性預金含む）

(単位：億円)



貸出金

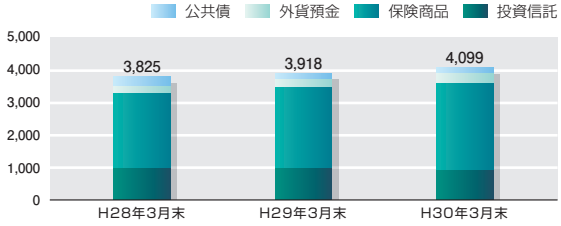
(単位：億円)



預り資産の状況＜単体＞

投資信託や保険商品等の預り資産は4,099億円となっております。お客さまの多様な資産運用ニーズにお応えするため、PC（パーソナル・コンシェルジュ）、FA（ファイナンシャルアドバイザー）の充実や相談ブースの設置を図っております。

(単位：億円)

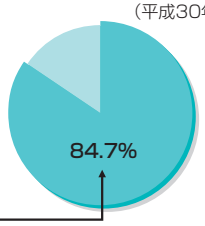


中小企業等のお客さまへの貸出金状況

名古屋銀行は、中小企業等のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしております。
中小企業等貸出比率は84.7%となっております。
なお、当指標は海外店および特別国際金融取引勘定分を除いた国内店分を表示しております。

（平成30年3月31日現在）

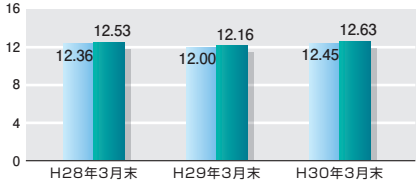
貸出金残高（国内店分）	2兆4,564億円
うち中小企業等貸出残高	2兆808億円
中小企業等貸出比率	84.7%



総自己資本比率の状況

自己資本比率は、銀行の健全性を判断する重要な指標のひとつで、比率が高いほど健全といえます。平成30年3月末の単体総自己資本比率は12.45%となっております。また連結総自己資本比率は12.63%となっております。

(単位：%)

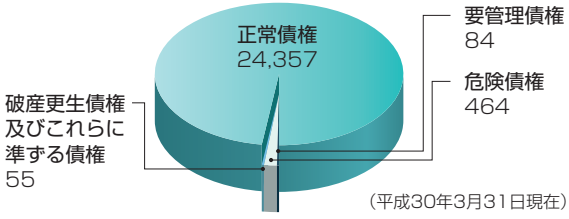


不良債権の状況

金融再生法に基づく不良債権は604億円、不良債権比率は2.42%となっております。なお、不良債権に対する保全率は86.98%であり、将来のリスクに備えた引当金の計上等を行っております。

金融再生法開示債権の状況

(単位：億円)



（平成30年3月31日現在）

格付けの状況

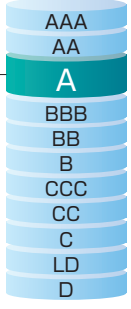
格付けとは、企業の発行する個別の債券について、約定通り元利金が支払われる確実性の程度を、一定の符号によって格付会社が情報として提供しているものです。企業の信用力評価的な要素が強く、広い意味で銀行そのものの信用度を表しております。
当行は、株式会社日本格付研究所（JCR）より長期発行体格付として「A+（シングルA+）」の格付けを取得しております。この格付けは投資適格銘柄であることを示しており、国内金融機関の中でも上位に位置付けられております。

■ 日本格付研究所（JCR）

名古屋銀行

A+

債務履行の確実性は高い。



連結財務諸表

（単位：百万円）

連結貸借対照表（平成30年3月31日現在）

科目	金額
（資産の部）	
現金預け金	348,141
コールローン及び買入手形	1,988
有価証券	867,439
貸出金	2,458,028
外国為替	4,887
リース債権及びリース投資資産	31,978
その他資産	73,048
有形固定資産	36,189
建物	8,876
土地	22,639
建設仮勘定	1,725
その他の有形固定資産	2,947
無形固定資産	1,971
ソフトウエア	1,656
ソフトウエア仮勘定	250
その他の無形固定資産	64
退職給付に係る資産	12,068
繰延税金資産	677
支払承諾見返	9,899
貸倒引当金	△12,621
資産の部合計	3,833,697

科目	金額
（負債の部）	
預金	3,341,742
譲渡性預金	61,900
コールマネー及び売渡手形	16,998
債券貸借取引受入担保金	43,713
借用金	40,817
外国為替	139
社債	20,000
新株予約権付社債	10,624
その他負債	21,339
賞与引当金	1,056
役員賞与引当金	48
退職給付に係る負債	4,688
役員退職慰労引当金	31
睡眠預金払戻損失引当金	354
偶発損失引当金	2,088
利息返還損失引当金	173
繰延税金負債	18,635
再評価に係る繰延税金負債	2,792
支払承諾	9,899
負債の部合計	3,597,044
（純資産の部）	
資本金	25,090
資本剰余金	21,231
利益剰余金	134,213
自己株式	△4,167
株主資本合計	176,368
その他有価証券評価差額金	55,874
土地再評価差額金	3,421
退職給付に係る調整累計額	206
その他の包括利益累計額合計	59,501
新株予約権	123
非支配株主持分	659
純資産の部合計	236,653
負債及び純資産の部合計	3,833,697

連結損益計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

科目		金額
経常収益		63,076
資金運用収益	31,927	
役務取引等収益	8,898	
その他業務収益	20,392	
その他経常収益	1,857	
経常費用		55,596
資金調達費用	3,115	
役務取引等費用	2,584	
その他業務費用	15,960	
営業経費	32,112	
その他経常費用	1,823	
経常利益		7,480
特別利益		5,207
特別損失		4,484
税金等調整前当期純利益		8,203
法人税、住民税及び事業税	2,248	
法人税等調整額	72	
法人税等合計		2,321
当期純利益		5,881
非支配株主に帰属する当期純利益		69
親会社株主に帰属する当期純利益		5,812

連結株主資本等変動計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

	株主資本					その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	25,090	18,810	128,758	△3,614	169,045	50,085	△0	4,400	△447	54,037	102	4,405	227,591
当期変動額													
剰余金の配当			△1,324		△1,324								△1,324
親会社株主に帰属する当期純利益			5,812		5,812								5,812
自己株式の取得				△570	△570								△570
自己株式の処分		△3		18	14								14
自己株式の消却													
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		2,421			2,421								2,421
土地再評価差額金の取崩			970		970								970
その他利益剰余金からその他資本剰余金への振替		3	△3		–								–
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						5,789	0	△979	654	5,464	21	△3,746	1,738
当期変動額合計	–	2,421	5,454	△552	7,323	5,789	0	△979	654	5,464	21	△3,746	9,062
当期末残高	25,090	21,231	134,213	△4,167	176,368	55,874	–	3,421	206	59,501	123	659	236,653

（備考）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

（単位：百万円）

貸借対照表（平成30年3月31日現在）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
		預金	3,350,342
現金預け金	348,028	譲渡性預金	61,900
		コールマネー	16,998
		債券貸借取引受入担保金	43,713
コールローン	1,988	借用金	15,199
		外国為替	139
		社債	20,000
有価証券	870,899	新株予約権付社債	10,624
		その他負債	8,115
		賞与引当金	1,000
貸出金	2,458,293	役員賞与引当金	37
		退職給付引当金	4,326
		睡眠預金払戻損失引当金	354
外国為替	4,887	偶発損失引当金	2,088
		繰延税金負債	18,542
		再評価に係る繰延税金負債	2,792
		支払承諾	9,765
その他資産	61,862	負債の部合計	3,565,940
		（純資産の部）	
		資本金	25,090
有形固定資産	35,214	資本剰余金	18,645
		資本準備金	18,645
		利益剰余金	127,747
無形固定資産	1,755	利益準備金	8,029
		その他利益剰余金	119,717
		買換資産圧縮積立金	164
前払年金費用	11,485	別途積立金	57,720
		繰越利益剰余金	61,833
		自己株式	△4,167
		株主資本合計	167,317
支払承諾見返	9,765	その他有価証券評価差額金	55,846
		土地再評価差額金	3,421
		評価・換算差額等合計	59,268
貸倒引当金	△11,532	新株予約権	123
		純資産の部合計	226,709
資産の部合計	3,792,649	負債及び純資産の部合計	3,792,649

損益計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

科目	金額	
経常収益		45,193
資金運用収益	31,882	
役務取引等収益	9,004	
その他業務収益	2,626	
その他経常収益	1,680	
経常費用		39,137
資金調達費用	3,036	
役務取引等費用	2,779	
その他業務費用	1,519	
営業経費	30,025	
その他経常費用	1,775	
経常利益		6,055
特別利益		5,205
特別損失		4,483
税引前当期純利益		6,777
法人税、住民税及び事業税	1,909	
法人税等調整額	1	
法人税等合計		1,911
当期純利益		4,865

株主資本等変動計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

	株主資本											評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計								
						買換資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金									
当期首残高	25,090	18,645	−	18,645	8,029	164	57,720	57,325	123,240	△3,614	163,362	50,078	△0	4,400	54,478	102	217,943
当期変動額																	
剰余金の配当								△1,324	△1,324		△1,324						△1,324
当期純利益								4,865	4,865		4,865						4,865
自己株式の取得										△570	△570						△570
自己株式の処分			△3	△3						18	14						14
自己株式の消却																	
買換資産圧縮積立金の取崩						△0		0	−		−						−
土地再評価差額金の取崩								970	970		970						970
その他利益剰余金からその他資本剰余金への振替			3	3				△3	△3		−						−
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）												5,768	0	△979	4,789	21	4,810
当期変動額合計	−	−	−	−	−	△0	−	4,508	4,507	△552	3,955	5,768	0	△979	4,789	21	8,766
当期末残高	25,090	18,645	−	18,645	8,029	164	57,720	61,833	127,747	△4,167	167,317	55,846	−	3,421	59,268	123	226,709

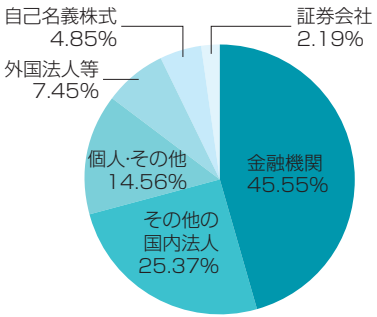
（備考）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報

株式の状況（平成30年3月31日現在）

発行可能株式総数	50,000 千株
発行済株式の総数	19,755 千株
株主数	8,228 名
上場取引所	東京・名古屋
証券コード	8522

所有者別状況（平成30年3月31日現在）



個人投資家さま向け説明会の開催

当行では、地元の個人投資家の皆さまを対象に、当行の業績や営業状況をより深く理解していただくことを目的に、個人投資家さま向け会社説明会を定期的に開催しております。

今後とも企業内容の理解促進を図るため、投資家の皆さまに対して積極的なIR活動を推進してまいります。

株式についてのご案内

事業年度　毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日　3月31日
（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会　毎年6月下旬
単元株式数　100株
株主名簿管理人　東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
公告方法　電子公告（https://www.meigin.com/）
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞および名古屋市において発行する中日新聞に掲載して行います。

○配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただけます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

確定申告をされる株主さまは、大切に保管ください。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル　0120-288-324 （土･日･祝日を除く9：00~17：00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いいたします。
		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

当行概要・各種お問い合わせ

プロフィール（平成30年3月31日現在）

商号	株式会社名古屋銀行
設立	昭和24年2月24日
資本金	250億円
本店所在地	名古屋市中区錦三丁目19番17号
店舗数	113店舗（うち出張所1）
従業員数	1,906名

ホームページのご案内

https://www.meigin.com/

最新の商品情報、キャンペーン情報をはじめ、ニュースリリースや財務データ、IR情報などを掲載しております。

役員（平成30年6月22日現在）

取締役会長	加藤　千麿
取締役頭取	藤原　一朗
専務取締役	山本　恭久
常務取締役	横田　真一
常務取締役	鵜飼　昌吾
取締役	伊豫田　至
取締役	今岡　潔
取締役	服部　悟
取締役	鈴木　健司
取締役	佐伯　外司
取締役	松原　武久
常勤監査役	中村　哲人
常勤監査役	杉田　尚人
監査役	浅野　晴彦
監査役	長谷川　信義
監査役	近藤　堯夫

各種お問い合わせ・ご相談（平成30年3月31日現在）

お問い合わせ内容	連絡先	受付時間
商品・サービス全般	0120-758-001	平日 9：00～19：00
EBサービス全般	0120-758-110	平日 9：00～18：00
bankstage（個人のお客さま専用）	0120-758-920	平日 9：00～17：00
名古屋ビジネスダイレクト（法人・個人事業主のお客さま専用）	0120-758-933	平日 9：00～21：00
投資信託・保険・国債・外貨預金・年金	0120-758-038	平日 9：00～17：00
住宅ローン	0120-758-541	
無担保ローン全般、カードローン	0120-758-241	
インターネットバンキングによる外為サービス	0120-925-758	
相続関連サービス	0120-758-776	
中小企業および住宅ローンの金融円滑化全般	各お取引店 本部窓口 0120-758-790	
住所変更・電話番号変更（個人のお客さま）	0120-758-001	平日 9：00～19：00
キャッシュカード、印鑑、通帳をなくされた時・偽造キャッシュカードの被害にあった時のご連絡先	各お取引店	平日 8：45～17：00
	ATMセンター 052-709-1567	24時間 365日
振り込め詐欺被害者救済法全般	0120-758-790	平日 9：00～17：00

名古屋銀行グループ連結子会社（4社）

名称	事業内容	名称	事業内容
・名古屋ビジネスサービス㈱	現金の整理・精査業務など	・㈱名古屋カード	クレジットカード業務・保証業務など
・㈱名古屋リース	総合ファイナンスリース業務など	・㈱名古屋エム・シーカード	クレジットカード業務・保証業務など

絆をつくる、明日へつなぐ。

名古屋銀行
Bank of NAGOYA

名古屋銀行 経営企画部
平成30年6月発行
〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目19番17号
TEL052-951-5911

名古屋銀行ホームページ
https://www.meigin.com/

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK